

平成二十八年度

第五十回 読売旗杯争奪

鳩ヶ谷秋季剣道大会

剣正心正

日時 平成28年12月10日(土)

午前9時開会

会場 川口市立八幡木中学校体育館

主催 鳩ヶ谷剣友会

後援 株式会社Y C鳩ヶ谷

株式会社アライ武道具

剣道の理念

剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

剣道修練の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽くして
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和 50 年 3 月 20 日制定
財団法人全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修練を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成 19 年 3 月 14 日制定
財団法人全日本剣道連盟

大会次第

開会式

1. 開会のことば
2. 国歌斉唱
3. 読売旗返還（前年度優勝チーム 四誠館）
4. 大会会長あいさつ
5. 来賓祝辞
6. 試合上の注意
7. 選手宣誓（小学6年生 外丸 昌幸）

演武（立合い：薙刀 対 剣道）

【薙刀】

【剣道】

関根 啓悟 先生 対 敦賀 剛気 先生

篠塚 雅菜美 先生 対 武田 亘生 先生

関根 啓悟 先生 対 東 浩 先生

篠塚 雅菜美 先生 対 田崎 智春 先生

試合

閉会式

1. 成績発表・表彰
2. 講評
3. 閉会のことば

大 会 役 員

大会名誉会長	八 谷 元 一		
大会顧問	菅 井 幸 夫	田 邊 満	
大会会長	八 谷 忠 巖		
大会副会長	小 川 明 己	谷 中 徳 雄	山 岸 春 美
大会委員長	山 口 薫 雄		
大会副委員長	増 田 徹	武 田 亘 生	本 多 瞳
大会委員	東 浩	佐 土 原 亮	伊 田 篤 史
	小 林 早 由 里	木 村 順 子	外 丸 章 江
審判長	野 口 一 則		
司会・進行	山 口 薫 雄	伊 田 篤 史	佐 土 原 亮
賞品・賞状	増 田 徹	小 林 早 由 里	木 村 順 子
受付・接待	古 市 仁 美	原 口 智 美	針 谷 厚 美
駐車場案内係	第1駐車場：田 中 明 夫	土 井 口 卓	
	第2駐車場：敦 賀 剛 氣	菅 原 徹 也	

審判員・会場係

審判長 野口一則

〔第1試合場〕審判主任 小川明巳

☆ 審判員

遠藤 雄 里村 豊 田川佳生 山田節男 山口薫雄
金子高明 山崎利男 坂本敏康 大久保祐二 佐土原亮
福田尚人 伊田篤史

☆ 会場係 (主任 田中明夫)

本多 瞳 針谷厚美 伊藤幸江 上甲実希 稲毛雅子
原口智美 柴田美沙 三ツ木恵子 池末久美子 関 薫
佐土原由美子 八谷 嘉 日比野風砂 土井口 卓 本多 守

〔第2試合場〕審判主任 増田 徹

☆ 審判員

板橋一夫 林 晴彦 谷澤英樹 長谷部太郎 小谷彰治
谷中徳雄 野口和久 滝口宏幸 鈴木智恵 永尾隆貴
奥村貴史 鈴木成彦

☆ 会場係 (主任 池末雄一)

外丸章江 大室あかね 鈴木美穂 高木淳子 吉田理絵
常陸千恵 識名麻衣 古市仁美 田中知子 大久保久美子
小室恵子 木村順子 菅原徹也 敦賀剛気

第50回鳩ヶ谷秋季剣道大会試合実施要項

1 試合部門、出場数及び各規則

- (1) 小学1・2年生の部(個人戦): 各団体2名以内
- ① トーナメント戦
 - ② 出場資格は小学1・2年生、性別不問(未就学児の出場は不可)
 - ③ 表彰は、優勝・準優勝・第三位の4名
- (2) 小学生低学年団体戦の部(3名による団体戦): 各団体2チーム以内
- ① 予選リーグを行い、3チームのリーグ(2リーグ)は第1位のチーム、4チームのリーグ(1リーグ)は上位2チーム、合計4チームによる決勝トーナメントを行う。
 - ② 試合形式は対戦形式とする
 - ③ 出場資格は小学1～3年生、性別不問(未就学児の出場は不可)
 - ④ 表彰は、優勝・準優勝・第三位の4チーム
- (3) 中学生団体戦の部(3名による団体戦): 各団体2チーム以内
- ① 3チームのリーグ戦(4リーグ)を行い、各リーグ第1位の4チームによる決勝トーナメントを行う。
 - ② 試合形式は対戦形式とする
 - ③ 出場資格は中学1・2年生、性別不問
 - ④ 表彰は、優勝・準優勝・第三位の4チーム
- (4) 読売旗争奪小学生団体戦の部(5名による団体戦): 各団体2チーム以内
- ① トーナメント戦
 - ② 試合形式は抜き勝負形式とする
 - ③ 出場資格は小学4～6年生、性別不問
 - ④ 表彰は、優勝・準優勝・第三位の4チーム及び優秀選手

2 試合・審判規則

- (1) 全日本剣道連盟試合規則及び同審判規則に準じて行います。詳細は以下のとおり。
- ① 試合時間
 - ・小学生: 2分間
 - ・中学生: 3分間

② 小学1・2年生個人戦について

- ・準々決勝戦までの試合において、勝敗が決しない場合は、1分間の延長戦を1回行い、なお勝敗が決しない場合は、次の基準に従い判定とする。

《判定基準》

- ・試合中における「態度」「姿勢」「氣勢」「気力」「理合い（気剣体一致を含む）」「積極性」等を見極めること。

③ 反則について

- ・「小学1・2年生個人戦」及び「低学年団体戦の部」については、竹刀を落した場合・場外に出た場合などの明らかに目に見える反則のみを採用します。

※なお、鏝迫り合いについては、**5秒間程度**で「分かれ」をかける。不適切な鏝迫り合いが続く場合には、「やめ」をかけて指導する。また、試合者自身または対戦相手の竹刀の刃部を握った場合も「やめ」をかけて指導とする。

- ・「中学生団体戦の部」及び「読売旗争奪小学生団体戦の部」については、全ての反則を採用しますが、ライン際で試合者双方がもつれた場合等においては、早めに「やめ」をかけ、場外反則で勝敗の決することが極力ないようにすること。

(2) 「読売旗争奪小学生団体戦の部」における「抜き試合」について

① 勝敗の決定：「大将」が残った方が勝ちなので、次のとおりになります。

- ・「先鋒～副将」対「大将」⇒ 引分けの場合、大将のチームが負け
- ・「大将」対「大将」⇒ 時間内に勝敗が決しない場合は、決するまで無制限の延長戦

② 優秀選手の表彰：連続で5人以上を抜いた選手を表彰する。

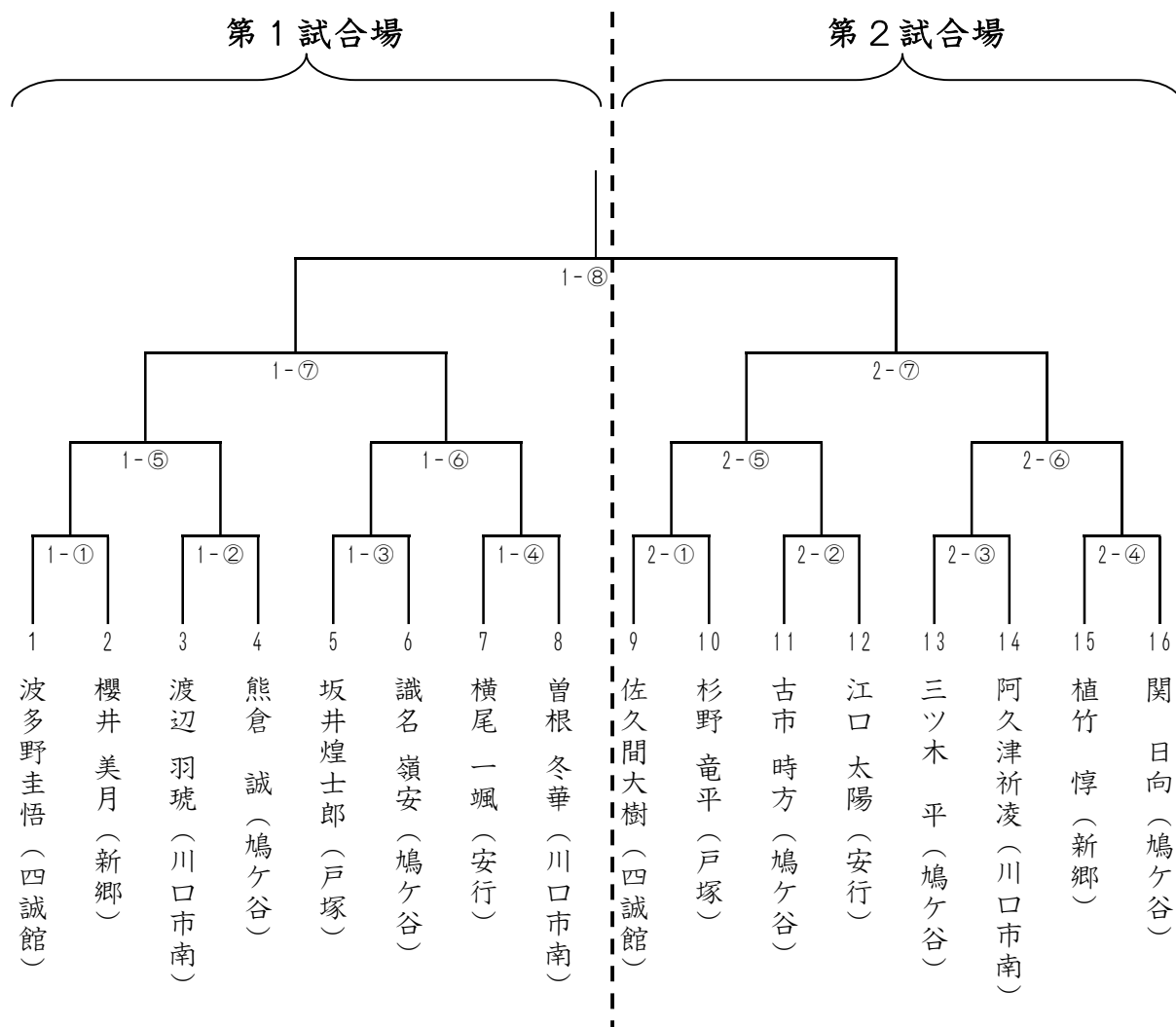
※相手チーム5人全員を抜く以外も、次鋒～大将が連続する2試合で引き分けなしに合計5人以上を抜いた場合も同様とする。

〔例〕

- ・【試合1】でAチームの先鋒が次鋒まで破り、Bチームの中堅に敗退、Bチームの中堅がAチームの次鋒と引分け、Aチームの中堅がBチームの大将まで2人を抜いた場合は、次の試合で再びAチームの中堅に出番が来た場合で、3名以上に勝てば5人抜きと認めます。

※ただし、次の試合に出番が来なければ消滅します。

【小学1・2年生個人戦の部】



【優勝】 _____

【準優勝】 _____

【第3位】 _____ . _____

【小学生低学年団体戦の部】

☆予選リーグ☆

第1試合場

Aリーグ	四A	新B	南B	勝	敗	分	勝点	本数	順位
四誠館A									
新郷B									
川口市南B									

Bリーグ	戸A	鳩B	新A	勝	敗	分	勝点	本数	順位
戸塚A									
鳩ヶ谷B									
新郷A									

〔試合順序〕

	赤	白		赤	白
①	四誠館A	—	新郷B	④	鳩ヶ谷B — 新郷A
②	戸塚A	—	鳩ヶ谷B	⑤	四誠館A — 川口市南B
③	新郷B	—	川口市南B	⑥	戸塚A — 新郷A

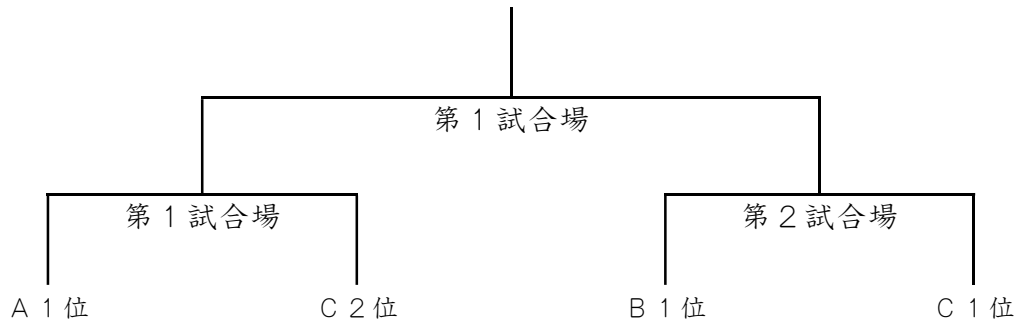
第2試合場

Cリーグ	鳩A	戸B	四B	南A	勝	敗	分	勝点	本数	順位
鳩ヶ谷A										
戸塚B										
四誠館B										
川口市南A										

〔試合順序〕

	赤	白		赤	白
①	鳩ヶ谷A	—	戸塚B	④	戸塚B — 川口市南A
②	四誠館B	—	川口市南A	⑤	鳩ヶ谷A — 川口市南A
③	四誠館B	—	鳩ヶ谷A	⑥	戸塚B — 四誠館B

☆決勝トーナメント☆



【優勝】 _____

【準優勝】 _____

【第3位】 _____ . _____

【中学生団体戦の部】

☆予選リーグ☆

第1試合場

Aリーグ	駒B	鳩D	四A	勝	敗	分	勝点	本数	順位
駒場B	/								
鳩ヶ谷D		/							
四誠館A			/						

Bリーグ	鳩B	安A	新B	勝	敗	分	勝点	本数	順位
鳩ヶ谷B	/								
安行A		/							
新郷B			/						

〔試合順序〕

	赤	白		赤	白
①	駒場B	—	鳩ヶ谷D	④	安行A — 新郷B
②	鳩ヶ谷B	—	安行A	⑤	駒場B — 四誠館A
③	鳩ヶ谷D	—	四誠館A	⑥	鳩ヶ谷B — 新郷B

第2試合場

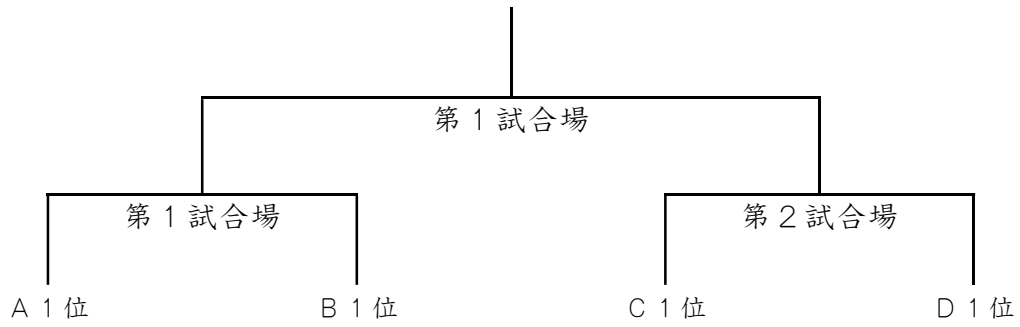
Cリーグ	駒A	鳩C	戸A	勝	敗	分	勝点	本数	順位
駒場A	/								
鳩ヶ谷C		/							
戸塚A			/						

Dリーグ	新A	安B	鳩A	勝	敗	分	勝点	本数	順位
新郷A	/								
安行B		/							
鳩ヶ谷A			/						

〔試合順序〕

	赤	白		赤	白
①	駒場A	—	鳩ヶ谷C	④	安行B — 鳩ヶ谷A
②	新郷A	—	安行B	⑤	駒場A — 戸塚A
③	鳩ヶ谷C	—	戸塚A	⑥	新郷A — 鳩ヶ谷A

☆決勝トーナメント☆



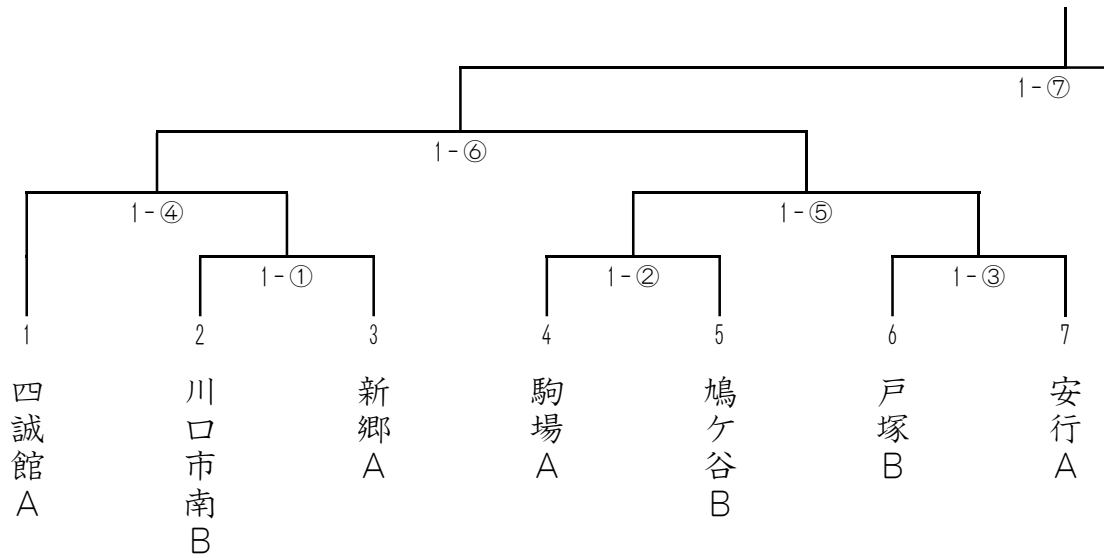
【優勝】 _____

【準優勝】 _____

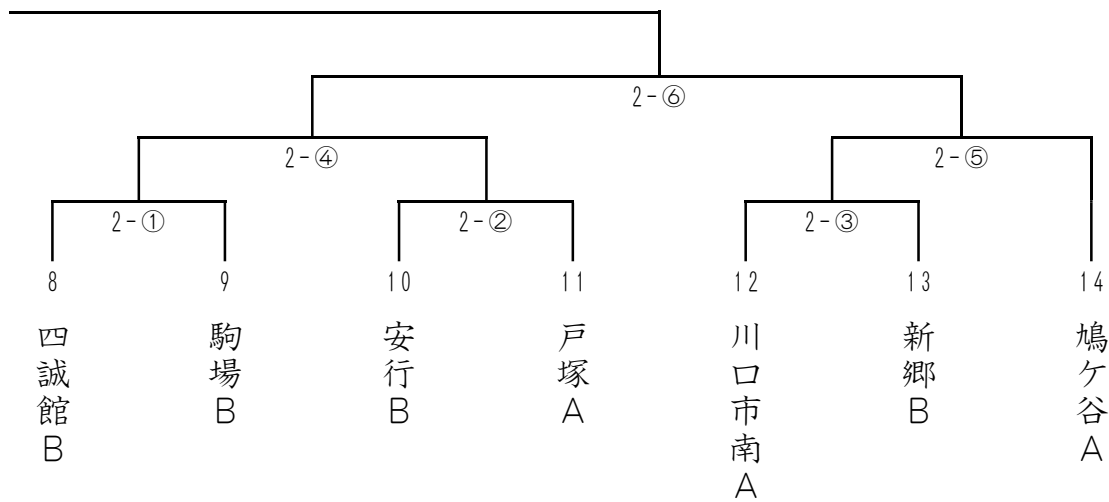
【第3位】 _____ . _____

【読売旗争奪小学生団体戦の部】

第1試合場

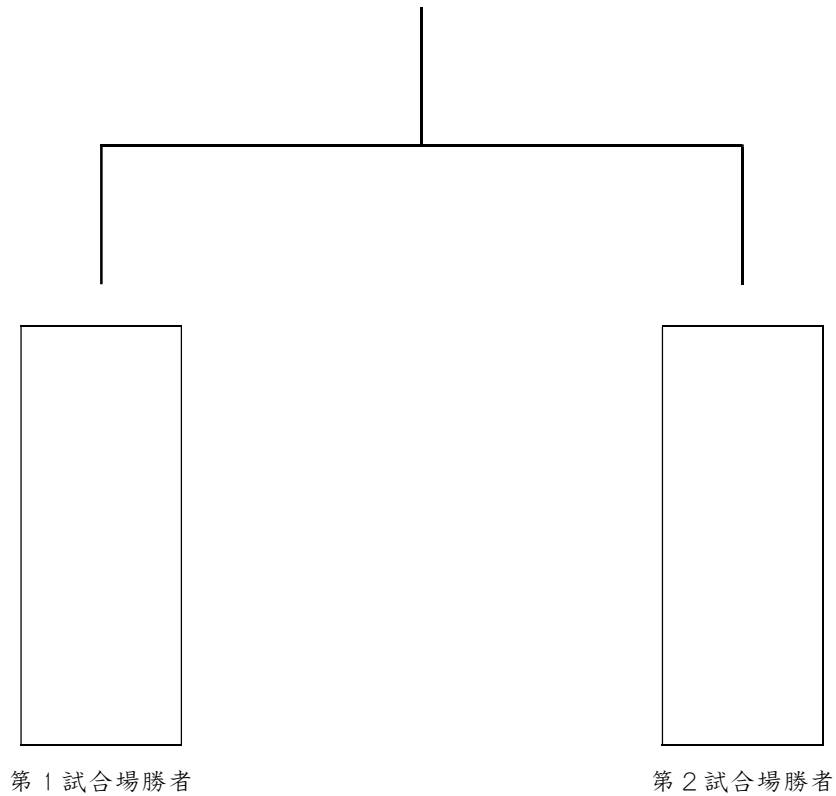


第2試合場



☆決 勝 戦☆

第 1 試合場



【優 勝】 _____

【準優勝】 _____

【第 3 位】 _____ . _____

【出場選手一覧】

《小学1・2年生個人戦の部》

四誠館	佐久間 大樹	小学2年生
	波多野 圭悟	小学2年生
安行剣道クラブ	横尾 一颯	小学2年生
	江口 太陽	小学2年生
戸塚剣道クラブ	坂井 煌士郎	小学2年生
	杉野 竜平	小学3年生
新郷剣道クラブ	植竹 惇	小学1年生
	櫻井 美月	小学2年生
川口市南剣友会	渡辺 羽琥	小学1年生
	阿久津 祈凌	小学2年生
	曾根 冬華	小学2年生
鳩ヶ谷剣友会	関 日向	小学1年生
	三ツ木 平	小学2年生
	熊倉 誠	小学2年生
	古市 時方	小学2年生
	識名 嶺安	小学2年生

《小学生低学年団体戦の部》

所属	先鋒	中堅	大将
四誠館A	吉田 葵	竹内 圭豪	水野 悠貴
四誠館B	上野 結衣	佐久間 光義	宮崎 蒼己
戸塚A	竹田 湊	松山 純也	飯野 諒
戸塚B	高井 秋夜	斎藤 大護	佐藤 俊
新郷A	櫻井 美月	金子 未侑	藤倉 小妃奈
新郷B	寺原 直希	鈴木 煌生	植竹 惇
川口市南A	澤口 凱斗	石井 亮乃介	尾嶋 灘尚
川口市南B	渡辺 瑚子	上野 千夏	加波 智大
鳩ヶ谷A	柴田 貫太	原口 史祥	稲毛 海七渡
鳩ヶ谷B	田中 虎輝	吉田 紘太郎	常陸 真輝

《中学生団体戦の部》

所属	先鋒	中堅	大将
四誠館 A	宮川 真里奈	影山 冬馬	黒葛原 翔
安行 A	千賀 悠翔	服部 政胤	橘 拓希
安行 B	中山 太貴	辰巳 大洋	秋元 俊太
戸塚 A	今泉 太河	山本 さくら	遠藤 寛太
新郷 A	中村 朋也	北野 美音	夏井 聖斗
新郷 B	藤倉 圭	嶋崎 茅	都倉 優佑
駒場 A	富田 陸	山崎 倭佳	早川 奎吾
駒場 B	齋田 良平	長谷部 魁	村松 蒼
鳩ヶ谷 A	大久保 駿	関 南音	池末 健人
鳩ヶ谷 B	佐土原 広也	田中 優太	高木 優嘉
鳩ヶ谷 C	佐藤 凪	熊木 裕哉	滝口 創太
鳩ヶ谷 D	山内 柚奈	本多 きずな	阿久井 ひかる

《読売旗争奪小学生団体戦の部》

所属	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
四誠館 A	宮川 拓也	下村 絢香	橋本 竜馬	小田桐 凜来	臼倉 鈴乃
四誠館 B	中嶋 カオル	橋本 和真	横山 允信	山本 虹輝	白井 秀汰
安行 A	金井 慧護	服部 紗也香	永尾 紘貴	高嶋 大輝	宮原 光司
安行 B	中山 幸紀	安達 正翔	上野 燦	安立 夏希	大山 華輝
戸塚 A	河口 大悟	飯野 寿々	松山 侑叶	福地 陽太	天野 颯太
戸塚 B	相澤 慶	奥田 朋哉	高井 春舞	長瀬 大喜	山本 真之介
新郷 A	塚田 空	塩川 百合奈	塩川 滉太	塩川 日茉莉	松尾 魁星
新郷 B	岡田 光翼	櫻井 優輝	植竹 瞭	高野 康太	上ノ堀 優斗
駒場 A	川島 慶之	加藤 遥	岡部 哲平	佐々木 悠悟	峯 修司
駒場 B	内田 尚翔	石井 那宙	松本 萌	細野 真希	住友 裕亮
川口市南 A	河本 宙良	下平 諒生	江藤 望	荒木 奏	味村 多聞
川口市南 B	川崎 空	青野 信	上野 晋治	曾根 悠吾	高野 悠汰
鳩ヶ谷 A	高木 鴻如	本多 剛	伊藤 匠健	星野 篤	外丸 昌幸
鳩ヶ谷 B	上甲 優作	大室 光世	田中 雅	鈴木 幸唯	針谷 宗佑

株式会社 アライ武道具

東日本武道具商工会員・全日本武道具連合会員・関東優秀武道具十光会員

〒114-0002

東京都北区王子2丁目28番10号

電話 03(3911)8694

FAX 03(3911)8545

《営業時間》

火曜～土曜 AM9:00～PM7:00

日曜・祭日 AM10:00～PM6:00

(定休 月曜日)

《アクセス》

◎JR戦王子駅北口より徒歩5分

◎南北線王子駅4番出口より徒歩3分



技あり 一本 読売新聞

二ユース
解 説
連載企画



どれも詳しくて
わかりやすい
記事ばかり！

お子さまからお年寄りまで、
読売新聞はお楽しみ頂けます。

読売新聞のお申し込みは

株式会社 Y C 鳩ヶ谷
埼玉県川口市鳩ヶ谷本町 3 - 1 7 - 9

鳩ヶ谷店 048-281-2828

戸塚店 048-295-5481

坂下店 048-286-3221

上青木店 048-265-6634

桜町店 048-285-7232

根岸店 048-284-0221

剣道の五法

- 一、身体が丈夫になるように
- 二、心が正しくなるように
- 三、両親や先輩を敬愛するように
- 四、與えられた仕事（学生は勉強に）
精を出すように
- 五、人から信用されるように